



神奈川県立

こうりょう

光陵高等学校



所在地：横浜市保土ヶ谷区権太坂一丁目7番1号 〒240-0026

電話：045(712)5577

FAX：045(742)9717

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/>

創立：昭和41年1月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	319	317	312	948
学級数	8	8	8	24

(生徒、学級数については令和7年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

●JR東戸塚駅東口より

・徒歩30分

・市営バス「境木中学校前」「平戸二丁目經由東戸塚駅前」行き「境木中学校前」(10分)下車徒歩10分

●JR保土ヶ谷駅東口より

・神奈中バス「東戸塚駅東口」「戸塚駅東口」「芹が谷」行き、市営バス「境木中学校前」行き「権太坂」(10分)下車徒歩5分



光陵高校とは

昭和41年、横浜国立大学教育学部の附属高校を設置するという意図のもと、県立横浜立野高校移転後の校舎に同高校の山手分校が設置されました。その後、現在の地で国立としてではなく、県立高校として光陵高校がその産声をあげました。地域的には横浜の中心部にあり、国道1号線と東海道本線にはさまれた交通の要所にありながら、周辺は閑静な住宅地域でもあり、小・中学校や特別支援学校も近く、学習に適した環境に恵まれています。

教育方針

本校の教育方針は、次の5点です。

- ① ゆたかな教養と徳性^{かんよう}の涵養につとめ、心身ともにねばり強い青年を育成する。
- ② 基礎学力を充実するとともに、生徒一人ひとりの可能性を最大限にのばすよう努力する。
- ③ 自主的にして積極的な学習態度を養う。
- ④ 誠実にして責任を重んじ、心ゆたかな人格を育成する。
- ⑤ 健康と安全の教育の徹底を期する。

先進的な取組み

横浜国立大学教育学部・同附属横浜中学校との「中・高・大連携によるこれからの教育実践モデルの構築」の成果を踏まえ、次代を担う人材を育成することを目的とした連携型教育を展開しています。また、教員を目指している生徒や教職に興味がある生徒を対象とした選択科目「教職基礎」、「教職基礎演習」を開講しています。

令和4年度からはSTEAM教育研究推進校として教科等での学習を実生活での問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な学習を推進していきます。また、学力向上進学重点校エントリー校として3年間の教育活動として高い進学実績を挙げることをめざします。

教育活動の特徴

本校の教育活動の特徴は、次の5項目です。

- (a) 幅広い学びをめざすカリキュラム編成
- (b) 進路を考える多様な試み
- (c) 多彩な学校行事
- (d) 高い部活動加入率
- (e) 平和と地域に関する班別自主行動を中心とした修学旅行

本校は、「心やさしき社会のリーダーの育成」のために「Ambition ～突き抜ける力～」 「Inquiry ～探究する力～」 「Cooperation ～協働する力～」の育成を中心とした教育活動を行っています。そのため、**基礎的・基本的な学力の充実**を重視するとともに、学習に対する自主的・自立的な態度を求めています。部活動や学校行事も大変盛んで、**文武両道**の学校生活が送れるというのも本校の大きな特色です。

(1) 教育課程

本校では、生徒が将来様々な分野で活躍できるように、**幅広い教養**を身に付けることをめざしています。そのため、1・2年時においては一部の科目を除き、全員が同じ科目を履修し、基礎的・基本的な学力の充実を図ります。3年時においては、多様な選択科目の中から各自の興味・関心・進路希望に合わせて選択することができます。また、学校の先生になることをめざしている生徒や、教育に興味がある生徒を対象とした選択科目「**教職基礎**」、「**教職基礎演習**」を開講しています。これらの科目では、「高校生のための教職セミナー」への参加や、横浜国立大学教育学部の先生方による特別講義の受講などを通して、教育について深く学ぶことができます。

(2) 学習

本校の生徒は学習意欲が旺盛で、一つひとつの授業に**真摯**に取り組み、職員室前の廊下は質問にやってくる生徒で賑わっています。1・2年時においては、自ら課題を発見し解決する能力の育成をめざす生徒参加型の授業（グループ活動・実験など）、3年時においては、問題演習を多く取り入れるなど大学受験に対応した授業も行われています。

また、希望者を対象とした**イングリッシュキャンプ**や**勉強合宿**、大学入試対策までをカバーする多数の講座が開講される**夏期講習**が実施されています。

(3) 光陵ユニバース(KU)

本校では、総合的な探究の時間として「**光陵ユニバース(KU)**」を置いています。KUでは、生徒一人ひとりが自らのテーマを設定し、探究活動を行います。研究の成果は論文にまとめ、校内発表を経て中高大合同発表会（**i-ハーベスト発表会(写真参照)**）へとつなげます。

また、体験的な活動をとおり、社会とのつながりの中で自己の在り方や生き方を考えていきます。



進路指導・キャリア教育

キャリアガイダンスルーム（進路相談室）には大学案内をはじめとする様々な資料が揃っています。各大学の過去問についても数年分揃っており、生徒への貸し出しも行っています。**キャリアカウンセリング（個人面談）**では、定期試験や実力テストの結果を利用し、生徒自らが将来について考え、進路選択ができるよう適切なアド

バイスをしています。また、外部の講師を招いての**進路講演会**や、進路の手引きにある**合格体験記**などを通じて、各自が進路を主体的に考える機会をつくっています。

(1) 卒業後の進路状況

ほぼ100%の生徒が大学に進学しています。本校の教育課程は国公立・私立大学いずれにも対応できるようになっており、進学先も多岐にわたっています。近年は国公立大学への合格者が増加傾向にあります。

(2) 大学との連携

2年生全員を対象とした横浜国立大学体験授業を実施しています。大学の講義の雰囲気を実際に味わうことで、生徒が進路を考えるよい機会になっています。

(3) 同窓会との連携

本校同窓会の全面的なバックアップのもと、1・2年生対象の**卒業生によるキャリアガイダンス**を毎年開催しています。各方面で活躍している幅広い年代の本校の卒業生から、自己の進路選択の体験談や職業観などの貴重な話を聞くことができます。

学校行事

生徒が主体的に企画運営する生徒会**三大行事**として、5月の**体育祭**、9月の**光陵祭（文化祭）**、2月の**学芸音楽祭（合唱コンクール・部活動の発表）**があります。

体育祭では1年生全員が応援団員となり、4色の色別に分かれて応援パフォーマンスを行います。本校では、「体育祭の応援団を経験することで真の光陵生となれる」といわれており、本校の名物のひとつになっています。



光陵祭では生徒が中心となって企画・運営を行い、様々な発表を行います。また「探究的な取組」を発表する機会として**KUスプラウト**を毎年行っています。**学芸音楽祭**では1・2年生の全クラスが課題曲と自由曲の2曲を合唱します。11月頃から徐々に準備を始め、約3ヶ月をかけて仕上げていきますので、どのクラスもこの行事で団結力が一気に高まります。また、保土ケ谷支援学校・権太坂小学校をはじめとする**近隣学校との交流**も盛んで、授業交流・部活動交流・体育祭や文化祭での行事交流などが行われています。

部活動

全校生徒の約9割が、運動系19・文化系16の部と1つの同好会に所属し、明るく楽しく活動をしています。定期試験期間中以外は、放課後に限らず早朝・休日にも校内に若いエネルギーが満ちあふれています。多くの生徒が上手に**部活動など特別活動と学習を両立**させている点が本校の特徴であり、先輩から後輩に受け継がれた伝統となっています。令和6年度は文芸部が全国大会に出場し、弦楽部が全国大会の出場を決めました。